

2008 年冬(2007 年 12 月～2008 年 2 月)の東北地方の天候

○少雪 ○寡照 ○気温は平年並

(1) 2008 年冬(2007 年 12 月～2008 年 2 月)の天候

冬型の気圧配置が続くことは少なく、短い周期で低気圧や気圧の谷が北日本を通過したほか、数日の周期で低気圧が本州南岸を通過した。このため、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側でも平年と比べて晴れの日が少なかった。本州付近や本州の東海上で低気圧が発達することは少なく、降雪量は少なかった。冬型の気圧配置が続いた 1 月中旬と 2 月中旬は気温が低くなったが、3 か月平均気温は平年並だった。

3 か月平均気温は東北地方で平年並。3 か月間降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。3 か月間日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。降雪の深さの 3 か月合計平年比は、東北日本海側は 70%、東北太平洋側は 33% でともにかなり少ない。

12 月：この期間、上旬は冬型の気圧配置となる日が多かったが、中旬以降は冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷が日本海から北日本を通過することが多かった。このため、東北地方の日照時間はかなり少なく、東北太平洋側の降水量はかなり多かった。

月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北地方でかなり少ない。降雪の深さの月合計平年比は、東北日本海側は 49% で少なく、東北太平洋側は 21% でかなり少ない。

1 月：中旬は冬型の気圧配置が強まり、寒気が南下した。このため気温の低い日が多くなり、東北日本海側を中心に雪の日が多かった。その他の期間は冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過した。このため曇りや雪または雨の日が多かったが、日本海から北日本付近で発達した低気圧は少なく、本州南岸を通る低気圧もあまり発達せずに通過したため、降雪量・降水量は少なかった。

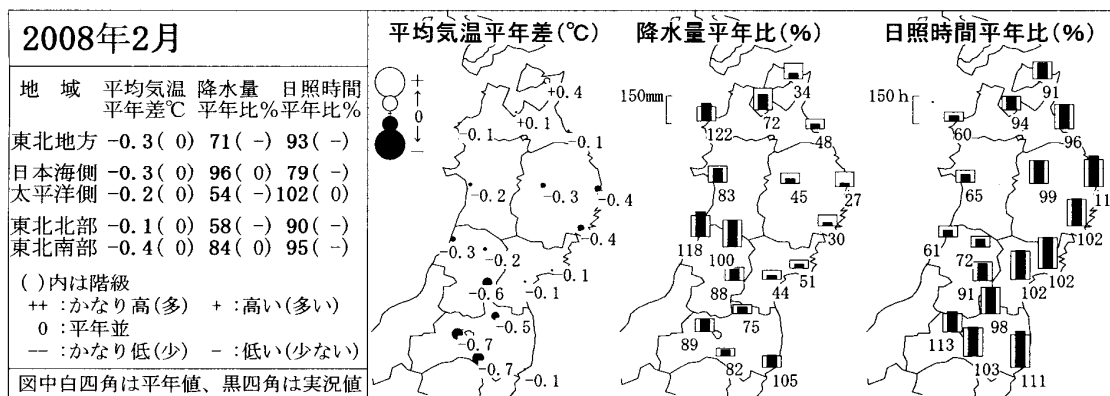
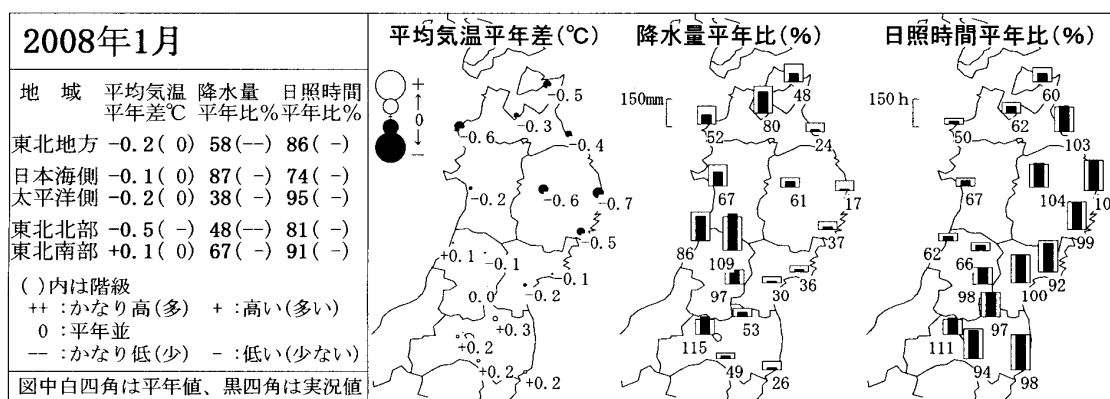
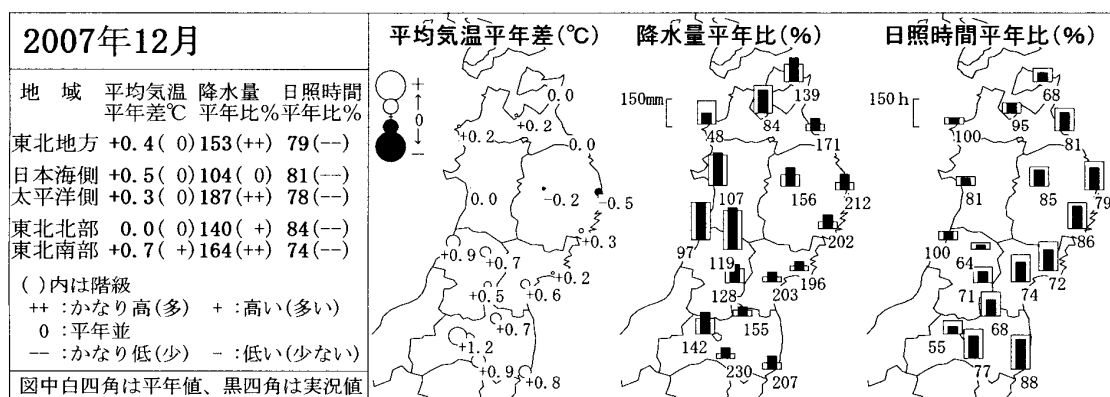
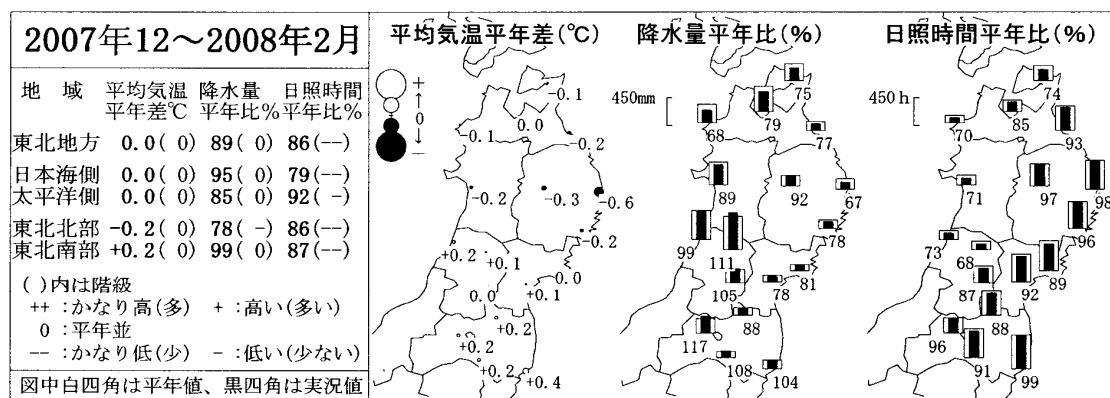
月平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。月間日照時間は東北地方で少ない。降雪の深さの月合計平年比は、東北日本海側は 74% で少なく、東北太平洋側は 26% でかなり少ない。

2 月：上旬や下旬には低気圧が短い周期で日本付近を通過し、天気は数日の周期で変化した。中旬は冬型の気圧配置が強まり、寒気が南下し気温の低い日が多かった。月を通してみると、東北日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多かったため日照時間は少なく、また、日本海や本州南岸を通る低気圧の影響は小さかったため、東北太平洋側を中心に降雪量・降水量は少なかった。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は、東北日本海側は 80% で少なく、東北太平洋側は 44% でかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2008年冬(2007年12月～2008年2月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
 東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2008 年冬 (2007 年 12 月～2008 年 2 月) の気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	-0.4	(0.0)	○	324.0	(79)	—	56	155.6	(85)	—
深 浦	0.5	(-0.1)	○	205.0	(68)	—*	44	79.5	(70)	—*
む つ	-0.7	(-0.1)	○	205.0	(75)	—*	38	179.9	(74)	—*
八 戸	-0.3	(-0.2)	○	108.5	(77)	○	20	369.2	(93)	—
秋 田	0.8	(-0.2)	○	328.5	(89)	—	61	111.3	(71)	—*
盛 岡	-1.3	(-0.3)	○	156.0	(92)	○	27	345.7	(97)	○
大 船 渡	1.5	(-0.2)	○	108.0	(78)	○	19	411.8	(96)	—
宮 古	0.6	(-0.6)	—	115.0	(67)	—	16	456.9	(98)	—
仙 台	2.6	(+0.1)	○	85.0	(78)	○	14	412.7	(92)	—
石 巻	1.6	(0.0)	○	83.0	(81)	○	14	433.5	(89)	—*
山 形	0.5	(0.0)	○	233.0	(105)	○	45	238.5	(87)	—
新 庄	-0.2	(+0.1)	○	595.0	(111)	+	75	93.0	(68)	—*
酒 田	2.6	(+0.2)	○	463.0	(99)	○	78	106.0	(73)	—*
福 島	2.6	(+0.2)	○	111.0	(88)	○	26	362.9	(88)	—
若 松	0.5	(+0.2)	○	273.5	(117)	+	50	239.0	(96)	○
白 河	1.3	(+0.2)	○	106.5	(108)	○	17	430.3	(91)	—
小 名 浜	4.8	(+0.4)	○	149.5	(104)	○	17	542.5	(99)	○

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

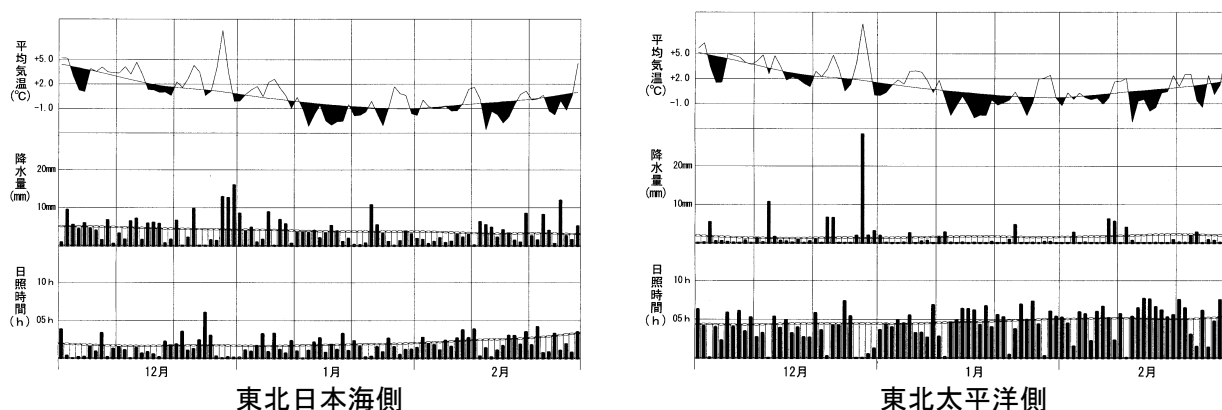
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3 か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2008 年冬 (2007 年 12 月～2008 年 2 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2008 年冬 (2007 年 12 月～2008 年 2 月) の極値・順位更新

(3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間の 3 位以内のみ)

3 か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	むつ	205.0	75	174.0 (1976)	1936	273.6
3	深浦	205.0	68	194.2 (1948)	1941	299.4

3 か月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	新庄	93.0	68	97.1 (1991)	1958	136.5

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方の 1 位のみ。)

月間日照時間少ない方からの順位更新

月	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1 2 月	若松	39.7	55	42.0 (1992)	1953	72.0
1 月	むつ	46.2	60	47.0 (1988)	1935	77.0

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(7) 降雪量 (降雪の深さの合計)

地点	12月 (平年値)		1月 (平年値)		2月 (平年値)		冬合計 (平年値)		階級
	c m	c m	c m	c m	c m	c m	c m	c m	
青森	85	170	179	250	122	205	386	626	—*
深浦	13)	77	75	123	74	114	162	315	—*
むつ	23	101	115	175	75	160	213	440	—*
八戸	23	52	41)	95	43	103	107	249	—*
秋田	41	79	147)	142	104	120	292	342	○
盛岡	70	68	58)	106	18	98	149	274	—*
大船渡	2	11	2	23	5	27	9	61	—*
宮古	1	19	2	43	5	72	8	134	—*
仙台	—	14	3	29	13	31	16	74	—*
石巻	1	7	1	13	13	24	15	44	—
山形	43	92	106	163	123	147	272	403	—*
新庄	112	168	278	283	225)	242	615	694	○
酒田	16	64	109	138	97	119	222	321	—
福島	2	35	32	86	48	73	82	195	—*
若松	86	100	78	185	137	160	301	447	—
白河	—	25	16	58	65	51	81	135	—
小名浜	—	1	0	5	1	7	1	12	—

注： 階級および、値の横の) や] については 3 ページ脚注を参照。

(8) 最深積雪 (積雪の最も大きい値)

地点	12月 (平年値)		1月 (平年値)		2月 (平年値)		冬最深 (平年値)		階級
	c m	c m	c m	c m	c m	c m	c m	c m	
青森	26	51	70	86	82	111	82	113	—
深浦	7)	17	22	31	31	42	31	44	—
むつ	8	24	21	47	20	66	21	68	—*
八戸	10	10	9]	18	13	28	13]	31	(統計月数：2)
秋田	9	16	25)	31	18	37	25	41	
盛岡	26	17	38)	27	23	33	38	35	○
大船渡	2	4	2	7	2	9	2	12	—*
宮古	1	6	1	12	3	29	3	30	—*
仙台	0	7	2	11	8	13	8	17	—
石巻	1	5	1	8	11	13	11	16	○
山形	20	23	34	37	40	46	40	50	○
新庄	32	50	89	97	119	123	119	125	○
酒田	6	13	32	27	22	30	32	36	—
福島	2	10	10	18	8	18	10	25	—*
若松	67	28	69	44	45	46	69	57	+
白河	—	8	8	14	28	14	28	21	+
小名浜	—	1	0	3	1	4	1	5	—

注： 観測値の「—」は現象がなかったことを示す。

階級および、値の横の) や] については 3 ページ脚注を参照。

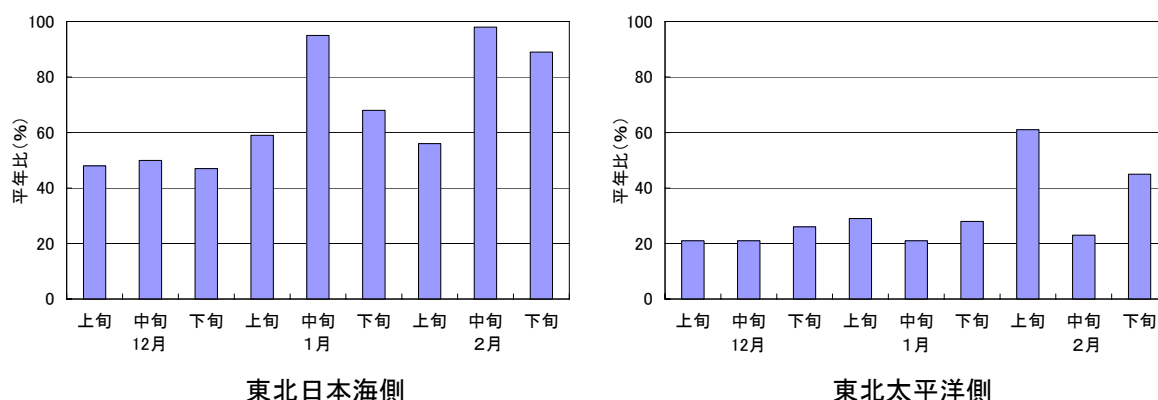
(9) 真冬日 (最高気温が 0℃未満の日) の日数

地 点	12月 日	(平 年 値) 日	1月 日	(平 年 値) 日	2月 日	(平 年 値) 日	冬 合 計 日	(平 年 値) 日
青 森	1	3. 8	10	10. 0	8	7. 7	19	21. 3
深 浦	0	2. 2	10	9. 2	6	7. 6	16	19. 0
む つ	1	3. 4	12	10. 1	7	8. 0	20	21. 4
八 戸	0	2. 0	8	6. 8	4	5. 3	12	14. 0
秋 田	0	1. 0	8	6. 0	2	5. 0	10	12. 0
盛 岡	1	2. 2	9	8. 2	2	5. 3	12	15. 6
大船渡	0	0. 5	1	2. 5	1	1. 7	2	4. 6
宮 古	0	0. 1	1	1. 3	1	1. 2	2	2. 7
仙 台	0	0. 1	0	1. 1	0	0. 9	0	2. 1
石 巻	0	0. 3	1	2. 1	1	1. 6	2	4. 0
山 形	0	1. 1	2	5. 6	1	3. 9	3	10. 7
新 庄	0	2. 3	9	9. 0	3	6. 9	12	18. 1
酒 田	0	0. 2	0	2. 5	1	2. 0	1	4. 6
福 島	0	0. 1	0	1. 3	1	1. 1	1	2. 4
若 松	1	0. 9	2	5. 6	3	3. 9	6	10. 4
白 河	0	0. 3	0	2. 4	1	1. 8	1	4. 6
小名浜	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0

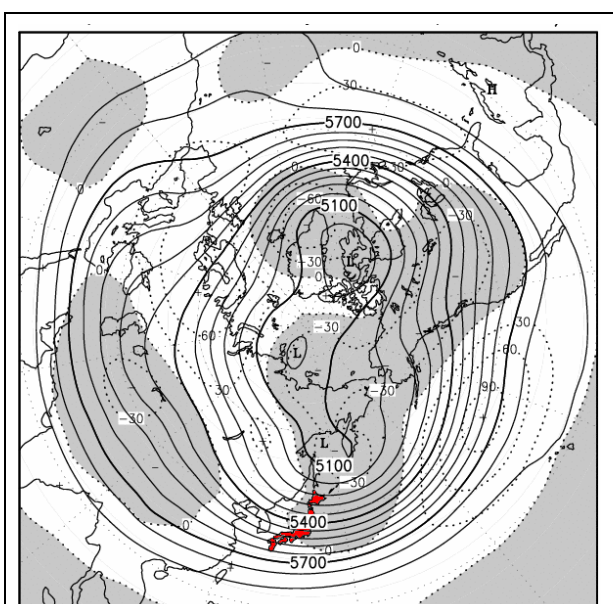
(1 0) 冬日 (最低気温が 0℃未満の日) の日数

地 点	12月 日	(平 年 値) 日	1月 日	(平 年 値) 日	2月 日	(平 年 値) 日	冬 合 計 日	(平 年 値) 日
青 森	18	22. 1	30	29. 1	28	26. 2	76	77. 5
深 浦	13	16. 4	29	26. 4	27	23. 9	69	66. 7
む つ	29	24. 5	31	29. 0	28	26. 3	88	79. 8
八 戸	25	23. 2	31	28. 8	28	26. 0	84	77. 9
秋 田	16	16. 9	28	26. 3	28	24. 1	72	67. 4
盛 岡	28	25. 3	31	29. 6	28	26. 8	87	81. 8
大船渡	15	18. 3	31	26. 3	28	24. 1	74	68. 8
宮 古	24	21. 9	31	28. 0	29	25. 4	84	75. 4
仙 台	4	13. 8	26	24. 6	27	21. 9	57	60. 3
石 巻	8	17. 6	30	26. 4	28	23. 4	66	67. 2
山 形	14	20. 7	30	28. 5	28	25. 6	72	74. 9
新 庄	16	22. 1	31	28. 4	29	25. 9	76	76. 5
酒 田	2	9. 3	20	20. 8	27	19. 7	49	50. 0
福 島	4	14. 9	25	24. 4	28	21. 4	57	60. 9
若 松	13	21. 7	29	28. 0	29	25. 3	71	75. 1
白 河	18	23. 3	30	28. 5	29	24. 8	77	76. 8
小名浜	5	10. 8	19	20. 6	17	17. 8	41	49. 6

(1 1) 東北地方における旬合計の降雪の深さ平年比の推移



(1 2) 北半球の大気の流れ (2007 年 12 月～2008 年 2 月)



2007 年 12 月～2008 年 2 月の平均 500hPa 高度・平年偏差図

実線は高度 (m)、間隔 60m。破線は偏差 (m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

北極海からオホーツク海やカナダ西部、グリーンランドに負偏差域が伸び、寒気はこの方面を中心に南下した。

ユーラシア大陸では、ヨーロッパから中央シベリア、バイカル湖付近にかけて正偏差域が広がり、ヨーロッパやシベリアの地上高気圧が平年より強かったことに対応している。太平洋から北米にかけては、太平洋中部、東部に正偏差域が広がり、アリューシャン低気圧が平年よりやや弱かったことに対応している。

日本付近では、中国東部から東シナ海にかけてが正偏差、日本の東海上が負偏差で東谷傾向であり、日本付近で低気圧が発達することは少なかった。本州南岸は東シナ海の正偏差と中国東北区の正偏差の間に位置し、前線帯になることが多かった。